

今年の夏は大変暑い夏でした。酷暑の夏、連日35℃が常温日で40℃。今迄考えられなかった暑さです。地球温暖化は日本だけでなく地球規模で全世界での重要問題なのです。

私達の地球は他の惑星と異なる点は、生命体が存在している事です。他の惑星と異なり、地球には海や川の水がある事、酸素や空気が有り空が有る。空には太陽・月・隕石そして雲があり、雨・風・露・雪・霜等が存在し、地球の大地と水と空が化学反応や太陽の光合成等で一個の生命体が生まれたと考えられています。それが増殖して進化し私達人間が最も進化したと考えられています。しかし私達人間も最初は他の動植物と同じように自然のジャングルの中で生息していました。しかし私達は文明文化を持つ事により自分達の理想郷を造り上げたのです。それは人間の最大の発見発明です。水平と垂直を持つ事によって、古来よりピラミッドを初めとして色々な構築物を造り上げたのです。それは常に自然を排除し犠牲にして鉄とガラスとコンクリートの固まりで自然のジャングルに変わってコンクリートジャングルを造り上げたのです。

地上何十階何百mという建物。また一步外に出ると地球の表皮地面が無く、コンクリートやアスファルト、レンガタイル等で水平垂直を施して道路・地下鉄・高速道路を造り、また水平垂直の副産物に時間・単位・数字を作り、進化させてデジタル社会を造り上げて皆様はコンクリートジャングルとデジタル化社会の中で快適にお過ごしのはずですが何やら心の窮屈さを覚えるのです。それは自分達の周辺から自然を無くし、自然を遠い所へ追いやってしまったのです。しかしまた自然を呼び戻そうとするのですが、自然は人間の手で復元出来ないのが私の持論です。では誰が自然を造るのか？私は自然は自然が造ると考えます。

何百年、何千年、何万年と時が自然を造るのです。自然は自然のサイクルを造るのです。それは生命の循環機構・生命の再生機構にほかならないのです。

しかしどうしてもと言われる方に自然の香り自然のエスプリをお届けするのが私は造園でないかと考えています。私達の造る造園には材料が必要です。

造園の材料とは土や石、樹木や草花・苔・芝等、地球の大地の全てが造園の材料になり得るのです。池や滝を造る、プールや噴水を造るまたお茶をなさっている方々には蹲踞を造るそれには水が必要です。また私達の庭園を造る場所は室内で造る方が居られますが私は屋外、アウトドアで造ります。そこには勿論、酸素も空気・空があります。空には太陽・月・星・隕石・雲があります。雲がある限り、雨・雪・露・霜等があり全てが造園の材料になりうる物です。この地球の大地と水と空が材料です。しかし何故、私達の生命と同じ材料を使うのでしょうか？私は此の様に考えています。

これからのシーズンは天高く、馬肥ゆる秋で空が大変美しいのです。青空や満月、星空・夕焼けなど見ていると茫然と時を忘れ眺められるものです。また今年の夏は大変暑く海や川にお出掛けになられたと思いますが、大海原や海岸で打ち寄せる白い波をご覧になった時、小川や谷川にサラサラと流れる水をご覧になった時にうっとりとした時を忘れ眺めるものではなかったでしょうか。またこれからのシーズン、野山の木々の紅葉やまた春の満開の桜・初夏の菖蒲など季節の様々な草花を目にした時に思わず「うわぁー」と声を上げ、笑みを零します。空や川や山を見た時、そこには見飽きない光景があり、時を忘れてご覧頂くのです。そしていづれも見終わった後に何か心のリフレッシュを覚えて清々しい気持ちになるのです。それはどうしてでしょうか？私はこう考えます。

私達の体の中に生命が出来る時、地球の大地と水と空が組み込まれているのではないかと考えています。そしてそれぞれが自然のそうした物に遭遇した時お互いが共鳴しあい、それぞれが故郷に帰ったような気分になるのではないのでしょうか。心が癒されるのは同じ材料を使って作庭をするならば、失われて行く自然の代りに庭を身近な自然と考え(自然の入り口・自然の覗き窓として)自然の美しさ・自然の優しさ・自然の豊かさ・自然の素晴らしさを感じて頂けるような庭造りをすると思っております。今私達人類は衣食住が大変豊かになっています。私達が豊かになれば必ず自然が犠牲になり、地球から自然が緑